

全体質疑



岡田委員



日野委員



熱田委員



森本委員



三宅委員



中谷委員

熱田委員 (福知山地本)
● 安全について、事故教育は会社が行うべきであるが、組合として、青女としても後輩に語り継ぐ。

● 社会人採用について、青女は年々減少する一方、社会人採用が増えている。採用全体の48%を占めており比率が高くなる組合員は不安。住宅補給金について、物価による資材高騰。新居を建てる組合員は不安。

● エリア手当の増加に感謝しているが、近畿エリアで見ると差があり道半ば。改善いただきたい。

● 制服について、熱中症と汗じみ。工務系統のウインドブレーカーも撥水性に乏しく機能發揮できていない。現場の声を反映させたものに。貸与品について、乗務員用カバンは重くて体

● がんのリハビリテーションの研修手当について、病院運営上必要な資格。通常の業務と並行してモラーニングでの事前研修と当日の集合研修は負担。

● 改札設備について、異常を検知した場合は「切符をお確かめください」の日本語の案内しかない。改札機に搭載する機能で車両について、車両は上限3枚ずつであるが、不衛生で我慢している。枚数の増加を。駅・乗務員では、ボロシャツのニーズが高まっている。駅・車掌へのサングラスの貸与を。列車状態監視、ホーム上の安全監視用に

● 大阪・関西万博について、無事完遂を果たした。JR西日本グループとして達成できることでは。

● 鉄道病院の老朽化について、建築25年は老朽化している。黒いカビや空調の機器が悪い。施設内の改修は時間がかかるが、患者の精神的苦痛を軽減するためにも。

● バス事業について、長時間労働にも関わらず賃金が低い。バス事業は年齢が上がり待たなし。国や自治体に課題解決に向けて働きかけを。

● 社員の運用について、金沢は北陸新幹線と在来線、3セク。並行在来線への移管や自動運転の準備を進めている。並行在来線に出向している社員もおり、復帰職場があるのか不安がある。今後の社員運用について提示を。

● 北労組の支援については今後もJR連合とともに取り組んでいきたい。

● 医療フォーラムについては参加者からの生の声やアンケート結果からも必要性を認識している。今後も広島地本、本社総支部とともに連携して取り組んでいきたい。

● 渡邊副委員長について、夏季作業は大変過酷であり、快適性が増すボロシャツ、ファン付の服は有効と考えるが、現場作業に合った安全面を重視した制服が好ましいとたたきたい。

● 要員不足について、現時点では会社から要員の推移について明確な回答は無い。退職者分の補填については新卒社員、社会人採用で確保していくとのこと。駅の業務課題、定年延長については引き続き議論していく。

● 中村業務部長について、職場環境改善について、ES財源を今中期経営計画で20億円ほど確保している。施工予定数は現時点で昨年の倍以上の計画となっている。来年度以降については諸課題交渉で議論する。

● 渡邊副委員長について、車両のジャック整備については車両改善要求で議論しているところである。近畿などエリアにおいてジャック推奨非推奨の取り扱いが違うためエリアで議論いただきたい。

● 宮崎副委員長について、超勤の付け方は実労働時間ベースと認識。ただ、諸会合の取り扱いについては引き続き議論が必要と考える。カスハラについても議論していく。名札についても非着用の方向で議論していく。

● 被服関係については諸課題交渉で議論していく。

● 安全について、事故から20年経過するが、節目ではなく継続した風化をさせない取り組みを継続する。

● 職場によって要員・年休取得率は違うので乗務員に偏った話ではないが、見習い中でも無理なく参加できるように配慮していただきたい。

● 貢重な20代の時間を見下しに繋がる。無理なく活動できる方法を模索していただきたい。